

さとし

議会だより

No.80
2015.4.28



岡山県 里庄町議会



- 平成27年度当初予算 (2)
- 国保財政は深刻な状況（質疑より）..... (6)
- 緊急支援交付金（3月補正）は27年度へ..... (10)
- 町政を問う（4人が登壇） (15)
- シリーズ“地域の子どもたち” (20)

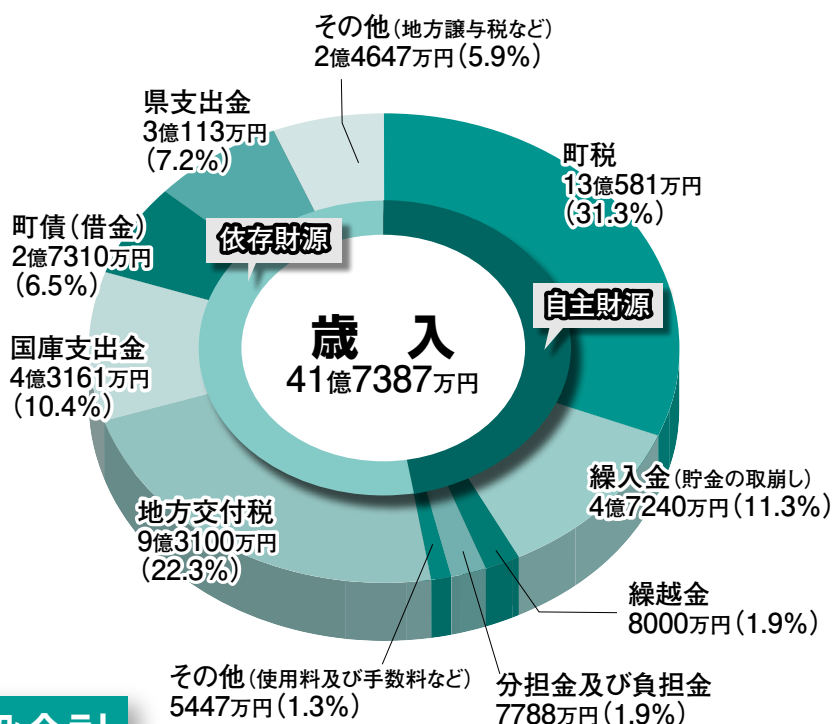
3月

定例会

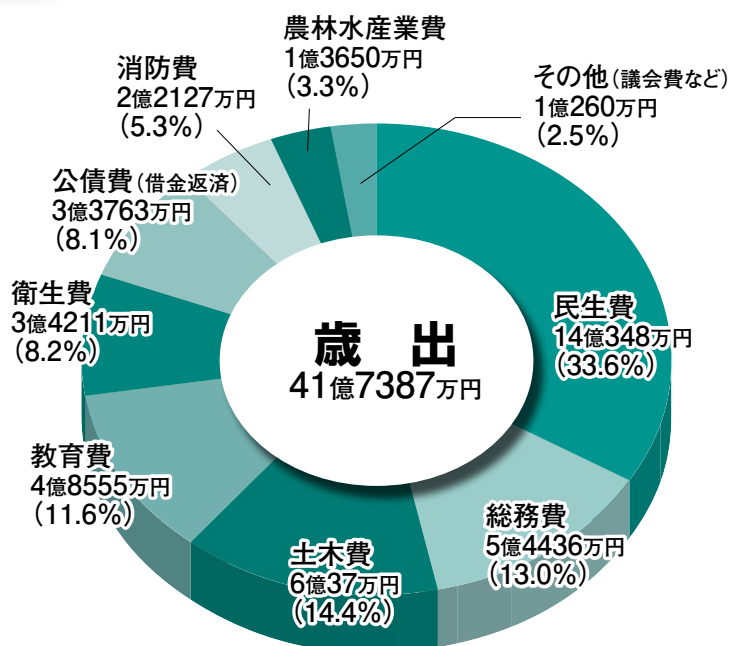
賛成7:反対1

原案可決!!

で可決!



一般会計



平成27年第1回里庄町議会定例会は、3月4日から18日までの会期で開かれました。議案は平成27年度当初予算9件、平成26年度の補正予算7件、条例の制定9件と一部改正7件、廃止1件、町道路線の廃止と認定が各1件、その他1件、議員からの発議1件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

なお、一般質問では4人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

平成27年度
当初予算

一般会計予算 41億7387万円

特別会計・事業会計、いずれも全会一致



ここが反対！

空中散布はやめるべき

高田卓司議員

松くい虫の空中散布は、全国的にも生態系に悪影響があるとして問題になっている。子供の健康被害が心配される、農薬の空中散布はやめるべき。

まこもたけは、担い手がない。持続できない事業に普及・宣伝費を毎年2～3百万円使うのは、いかがなものか。

免許証のある人にタクシー券を出すのも考えもの。

住民の負託に応えようとする姿勢に欠ける。

平成27年度 当初予算

会計名	金額
一般会計	41億7387万円
国民健康保険特別	13億8092万円
介護老人保健施設特別	3072万円
介護保険特別	9億3719万円
後期高齢者医療特別	1億4593万円
水道事業会計	3億5135万円
公共下水道事業会計	7億7304万円
育英奨学資金給与特別	23万円
町営墓地特別	1190万円

事業!

こんなことを
行います。

防災士養成研修補助金

61万円

安心・安全なまちづくりのための「防災士」の資格を取得してもらい、地域の防災リーダーとなる人材の育成を図ります。そのため補助金を昨年度に引き続き補助を行います。

駅西歩道橋改良工事

1300万円

里庄駅西側の歩道橋を改修するため、工事請負費に1300万円を予算計上しました。国から工事請負費の55%にあたる金額の補助を受けます。

学校・図書館に

太陽光パネルを設置

699万円

災害対策用に県の補助金を活用して、東・西小学校和中学校、図書館に太陽光パネルと蓄電池を設置します。そのため設計委託料699万9000円を計上しました。

高齢者タクシー料金

助成金事業

302万円

今年度も高齢者に対するタクシー料金の助成事業を行います。対象者一人当たり2万4000円分のチケットを交付するため302万4000円を予算計上しました。

小児医療費

5541万円

0歳児から中学校卒業までの医療費を無料にしていますが、年々増え続け、本年度は5541万6000円を予算計上しました。

各種検診事業

1948万円

健康増進事業として、がん検診などの各種検診委託料1948万円を予算計上しました。また、このほかに疾病予防、健康管理を推進するため腹部の超音波検診553万円、骨粗しょう症検診190万円の委託料を予算計上しました。

里ちゃんPR事業

195万円

65周年記念事業として里ちゃんグッズ（ミニタオル）を作成します。作成費は137万7000円です。

また、里ちゃんの着ぐるみを57万3000円で更新します。



人気キャラクター「里ちゃん」

新年度の 主な

平成27年度は、

道路新設改良事業 1億5300万円

岩村地区の町道里見674号線の道路改良工事を行います。また、町道里見229号線を殿迫地区から東へ延伸するため、4工区の用地買収等を行います。

道路新設改良事業全体の内訳として、登記関係調査委託料600万円、測量設計委託料900万円、工事請負費9000万円、用地購入費3600万円、工作物立木等補償費1000万円、原材料費200万円を計上しました。



新設予定の11部消防機庫

公共施設改修工事 1388万円

福祉会館の大ホール等の空調設備改修工事のために1190万4000円を予算計上しました。

この他に、フロイデ中ホールのカーペット張りかえ工事を行うための予算、198万1000円も計上しました。

消防団機庫を新設 1641万円

消防団11部の消防機庫を新設します。その機庫の設計監理委託料に75万6000円、機庫新設工事費1566万円を計上しました。

野球場の管理 103万円

グラウンド整備、草刈り、トイレ清掃等の作業を行う野球場の管理人賃金に61万2000円と芝生等の管理委託料42万3000円を予算計上しました。

小・中学校で改修 補強等の工事 2499万円

中学校は、老朽化によるプール循環式ろ過施設の一部改修工事、237万1000円を予算計上しました。

学校生活支援員事業

中学校	113万円
東小学校	800万円
西小学校	896万円
東幼稚園	203万円
西幼稚園	203万円

今年度も引き続き事業を実施します。この事業は、園児・児童・生徒の学習や体験活動等への支援をするために配置するものです。

東小学校は、音楽室照明更新工事131万8000円、給食調理場床塗装工事108万円と西小学校は非構造部材耐震補強工事1271万7000円、食堂天井塗装工事143万7000円、A棟窓ガラス遮熱フィルム貼付工事230万円、音楽室エアコン設置工事240万円、B棟廊下塗装工事137万2000円の予算計上をしました。

質 疑

▼ 国保財政は深刻な状況 ▼ 農薬散布は危険

平成27年度の当初予算案より2人が質疑を行いました。

平成27年度予算総括

自助・共助・公助をどのように考えたのか

眞野議員 高度化した住民ニーズ、地域ニーズに対応していくためには、町民と行政、または町民相互で担うことが必要。この協働のまちづくりという考えのもと、自助、共助、公助をどのように考えて予算編成したものか。

総務課長 現在の多様化

高度化したニーズに対応するには、行政と町民の方と一緒に、また町民相互に協力してもらい、さまざまな課題に取り組んでいく必要がある。ただ、急激に進めたのでは戸惑い、混乱も生じるので少しずつ着実に進めていく。

そうした考えのもと、

予算編成は、自主防災組織に対する活動補助金、防災士の資格取得に係る受講料助成などの補助事業。地域リーダー養成講座と地域サポーター養成講座の開催等の人材育成事業。消防機庫更新などの基盤整備。

また、自助、共助の土台となる健康づくりにも配慮し、健康増進事業や生涯学習事業などは継続して行う。

補正予算で計上した「まち・ひと・しごと交付金事業」で在宅支援まちづくりコーディネーター

を配置し、住民ボランティアによる高齢者の生活支援サービスの構築を図るなどしている。

これからの町政は、町民の協力は今まで以上に必要。

国保財政は深刻な状況

眞野議員 現在、国保財政は加入者の高齢化や低所得者が増加したことにより、極めて深刻な状況になりつつあり、当町も平成27年度は税率の引き上げが決定している。

町民課長 里庄町の1人当たりの医療費は平成25年度が36万9333円と前年度から1万円以上増加している。さらに全国平均と比べると約4万8000円も高い。

平成30年度から国民健康保険の財政運営を市町村から都道府県に移行することが決まった。

あと3年間の当町の包



地域リーダー養成講座



まこも焼き

括的な取り組みは、安定した歳入の確保、医療費の抑制、重症化しないための予防の3つを柱に医療費の適正化に取り組んでいる。

健康福祉課長 これまで各種検診の充実を図り、さまざまな健康教室を開催し、町民の健康づくりに取り組んできた。

その結果、介護保険の認定率は16%前後で推移し、県内では最も低い。予防に力を入れることは結果として医療費の抑制にもつながっていると考える。

平成29年度にはデータヘルス計画を策定し、医療費分析を行う予定。

農薬散布は危険

高田議員 ①小・中学校・

図書館に太陽光パネルおよび蓄電池を設置し非常電源の確保を図るとしている。

図書館へ設置するより里見川荘にパネルを設置したほうがいいのでは。

また、蓄電池まで付けるのなら普段も使うべきだ。

②松くい虫防除空中散布事業を例年して、ニコチノイド系の農薬を散布している。これは生態系に影響があり非常に危険だ。被害が出てからでは遅い。

③まこもたけの特産化推進事業で、当初は1000万円くらい投資して、毎年200万円以上のお金を使いPRしてきている。

担い手が続かず、自然消滅の方向へ行き、生産がでなくなれば、税金

の無駄遣いになる。

総務課長 ①国の基金を

活用して、小・中学校と図書館の4カ所を要望して内示をもらっている。27年度設計、28年度工事で計画している。

町長 図書館は内定している。その上で里見川荘も要望を出す。

学校や図書館で普段から利用できないのか、設置のときに考えたい。

農林建設課参事 ②26年度は75ヘクタールを低農薬剤に変更し実施した。低農薬に変えても効果は変わらない。

町長 虚空蔵山系の空中散布はやめる考えはない。また、健康被害が出れば問題があるので、調べて検討する。

農林建設課参事 ③生産

部会の中に若い人が入ってきて、今年も4反、増



図書館

やしてやると話が来ている。今後も60代前半の人を探し、普及に務める。特産品化に向けて多角

的な支援をしているので温かく見守ってほしい。

町条例

制定

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する規定の整備に関する条例

非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償の日額を明記しました。報酬額の見直しは行っていない。

里庄町職員の給与に関する条例の一部を改正する等の条例

1 回限りの特例措置のため必要な規定や条例を廃止します。

里庄町分担金徴収条例

現在、分担金徴収条例を事業ごとに制定していますが、整理、統合し、新たな事業を追加した通則条例として制定しました。

教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例

新教育長は、地方公務員法上の特別職となり、具体的な勤務時間を規定する必要があるため制定します。

現教育長の任期が満了する平成27年9月末までは適用しません。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

地方教育行政の改革に伴い、関係する条例に教育長を加えるなど、所要の改正を行いました。

里庄町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例

これまで国が定めていた包括支援センターの基準を市町村の条例で定めることとなりました。

里庄町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

介護保険法の一部が改正され、指定介護予防支援等の事業の人員、運営と指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を条例で定める必要があり、制定しました。

里庄町老人ホーム入所判定委員会設置条例

里庄町老人ホームの入所判定委員会に必要な事項について、条例で定める必要がありました。

里庄町障害者計画等策定委員会設置条例

里庄町障害者計画等策定委員会に必要な事項について、条例で定める必要がありました。

予算決算委員会

予算審査の際次のような質疑・意見がありました。

一般会計予算

- ・ 定住促進の方向性等に関する質疑
- ・ 里庄駅からのバス運行の現在の状況についての質疑
- ・ 防犯カメラの設置と運用についての質疑
- ・ 小・中学校の学習環境の整備等について質疑と小・中学校の各教室へのエアコンの設置に関する質疑、意見
- ・ 野球場管理人の必要性についての質疑と公平に公募の上で採用する必要があるとの意見
- ・ 文化ホールの舞台業務の委託、自主事業の内容、そしてホール稼働に関する質疑、意見
- ・ ごみ減量化に関する

る施策についての質疑、意見

- ・ 松くい虫防除薬剤空中散布の安全性に関する質疑と疑問がある状況で継続することに問題があるとの意見
- ・ 広報等の郵送料の内訳等についての質疑と組合外の住民に対する広報等、郵便物の送付は、実情に応じた配慮が必要ではないかとの意見

その他特別会計予算

- ・ それぞれの事業にあわせて実績を考慮しながら、適正な運営をしてほしいとの意見

一部改正

里庄町行政手続条例

行政手続法の一部が改正され、行政指導の中止等の求め、処分等の求めに関する規定等が設けられたことから改正します。

里庄町証明等手数料条例

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の法律題名が改正されたことから、改正を行う必要があります。

里庄町個人情報保護条例

特定独立行政法人及び日本郵政公社を行政執行法人に改めました。

里庄町後期高齢者医療に関する条例

後期高齢者医療保険料に係る延滞金を、町税と



下水道工事(殿迫地区)

同様にやむを得ない事由があると認められる場合に限り減免することができると改正します。

里庄町介護保険条例

今回の法令等の改正により、保険料の段階を9段階に細分化しました。平成27年度から29年度までの3年間の保険料の基準額は値上げをせず、現行の4800円となっています。

里庄町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び里庄町指定地域密着型介護予防防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を

定める条例

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い介護保険法の一部が改正されたこと等により、所要の改正を行う必要があります。

里庄町介護老人保健施設設置条例

介護保険法の一部が改正されたことで、規定の整理を行い、運営協議会を地方自治法の規定に基づく付属機関であることを明確にしました。

廃止

里庄町保育の実施に関する条例

児童福祉法の改正に伴い、保育の実施の基準を条例で定める必要がなくなったため当該条例を廃止します。

水道事業会計予算

水道台帳システムへのデータ入力期間やデータ化することによるメリット等の質疑

公共下水道事業会計予算

工事箇所等に関する質疑



予算決算委員会

補正

平成26年度の補正予算案の7議案は、いずれも全会一致で可決となりました。
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金は3月補正として計上し、成立後、そのまま来年度への繰り越しとなりました。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金



サンラヴィアン工場見学

プレミアム商品券

1120万円

地元消費の拡大、地域経済の活性化のために、浅口商工会に委託し、商品券に20%のプレミアムを付けて販売します。

子育て世帯応援商品券の発行

903万円

子育て世帯（中学生以下の子どもがいる世帯）

を対象に子ども一人あたり5000円の商品券を配布します。

総合戦略策定事業

432万円

総合戦略および人口ビジョン策定のための調査・分析等を委託し、外部有識者を含む検討会を開催します。また、職員の統計分析能力向上を図るための研修会も開催します。

産業・観光活性化事業

430万円

町内企業の工場見学とまこもたけ収穫体験を軸とした体験型観光ツアーを実施します。

町内企業の情報を編集した冊子を作成し、学校へ配布し企業のPRを行います。

「まこもたけ」の特産化を推進するためにPRキャラクターの製作、講演会の開催、レシピ集等を作成します。

結婚・子育て・教育環境整備事業

637万円

産業文化祭の出展を目的とした出会いの場の創出を図ります。

保育園で新たに5歳児を受け入れることに伴う必要な備品の整備に要する経費を補助します。

中学校での学習や生活を円滑に行うために中1ギャップ解消支援員を配置、特別支援学級に生活支援員を配置します。



木工体験(ライフスペースアカセ)

高齢者が住みやすい まちづくり推進事業

321万円

地域見守りサポーターの活動支援や介護保険法の改正等を踏まえた住民ボランティア等に生活支援サービスの構築を行うコーディネーターを配置します。

安全・安心なまちづくり 防災・防犯力強化事業

387万円

地区（自主防災組織）単位での防災・防犯マップを作成します。
青色パトロールカーを購入し、車両による町内パトロールや防犯講座を実施します。



地域サポーター養成講座

保育所緊急整備 事業補助金

2300万円

補助基準の見直しにより2300万円の増額となります。補助額の合計は1億6800万円となりました。

質疑

一般会計

商品券はどのように販売されるのか

岡村議員

①地域の個人消費を底上げするために

都道府県および市町村が実施する地域における消費喚起策のうち、町の商品券はどのように販売されるのか。

②浅口商工会とJAとが里ちゃん市場と連携して利用できないか。

企画商工課長 ①浅口商工会への委託事業で商工

会への委託事業で商工

会への委託事業で商工

会商品券に一定率のプレミアムを付して販売する計画で浅口市とこれから協議をする段階。決定次第皆さんに広報する。

②協議がまだ進んでいない。JAと連携でということもこの協議の中で考えながら、よりよき消費喚起ができるように進めたい。

③西小学校の給食調理場改修事業債の減額の理由は。

④報償費のまち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員のメンバー構成と人数は。

⑤地域産業活性化事業関係費の内容は。

⑥観光ルート確立事業関係費は具体的にどういうことをするのか。

⑦合併浄化槽設置助成金の減額の原因は。

地域産業活性化事業の内容は

高田議員

①個人町民税

固定資産税の滞納繰越分

は例年に比べ多いのか少ないのか。法人町民税の

は例年に比べ多いのか少ないのか。法人町民税の



JA岡山西直売所「里ちゃん」

町民課参事

①職員はもとより関係機関の協力を得て、昨年に比べ徴収率で5%から10%の前年度実績を上回る数字を徴収している。

法人町民税の減額は約3社ぐらいあり法人割りの税額が昨年に比べ減額となり、収入の見込みが立たず減額した。

町民課長 ②予算編成時、保育園より職員の採用ができれば待機児童が入所、入園ができるのとこのことで準備をし、予算として見込んでいた。結果として年度最後まで入園の見込みができず減額した。

町民課長 ②予算編成時、保育園より職員の採用ができれば待機児童が入所、入園ができるのとこのことで準備をし、予算として見込んでいた。結果として年度最後まで入園の見込みができず減額した。



まこもたけ、とれたよ～

それに伴う国、県の負担が減額補正となった。
総務課長 ③改修工事の内容の計画を見直したため、工事請負費も減額になり、それに伴い事業債も減額した。

⑤主にまこもたけに関する予算で、スタンプラリーの商品、まこもPRキヤクターの商品、まこもPRキヤクターの審査員報酬、まこもフェアに関するチラシ代、リーフレット、レシピ集等。
 ⑥昨年観光ルート事業を実施し、大好評だった。今年度も町内の多くの物づくりの企業に協力をも

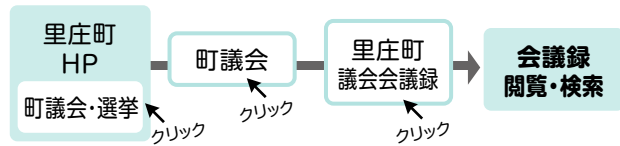
らい、またまこもの収穫体験も組み入れ、観光ツアーを実施することを目標にしている。予定は30組60人で、27年度の実施事業。
上下水道課長 ⑦補助金が出る区域に開発団地があり、補助申請が出ると見込んでいた。松尾地区と手ノ際地区の申請が思うようになかった。

3月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一 般 会 計	44億 931万円	(△1億3148万円)
国民健康保険特別	12億6373万円	(△23万円)
介護老人保健施設特別	8577万円	(823万円)
介護保険特別	8億7845万円	(347万円)
町営墓地特別	1873万円	(△108万円)
水道事業会計		
収益的収入	2億8296万円	(800万円)
収益的支出	2億7538万円	(1160万円)
資本的支出	1億1649万円	(△2000万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億1404万円	(908万円)
収益的支出	2億8704万円	(508万円)
資本的収入	5億6135万円	(△4247万円)
資本的支出	6億8456万円	(△4247万円)

議会会議録は里庄町の
 ホームページからご覧になれます。

<http://www.gijiroku.net/town.satosho/>



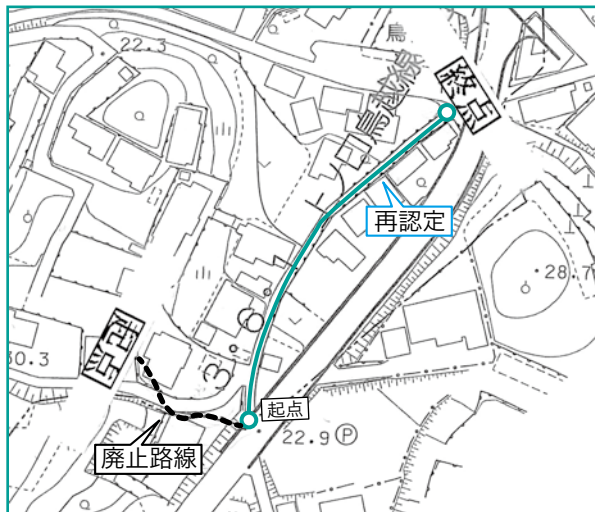
見学後のショッピング(サンラヴィアン)

町道路線の廃止と認定

建設福祉委員会に付託された町道路線の廃止と認定の2議案を審議するため、3月5日に委員会を開催し、慎重に審議を行いました。

屋中地区の町道里見335号線部分は、昭和50年ごろに宅地開発され代替道路がつくられていますが、しかし、開発時に整

理されることなく現在に至り、今回、払い下げの要望があったことから整理することとしました。認定する部分は町道として残す必要のある部分を再認定するものです。代替道路もあり、今回の廃止と認定は問題なしとの結論により全会一致で認定しました。



廃止と認定路線(町道里見 335号線)

人事

人権擁護委員

里庄町大字新庄
グリーンクエスト25番地2
寺前 恭子氏

里庄町議会議員選挙

選挙結果

任期満了にともなう里庄町議会議員選挙は4月26日(日)に投票が行われました。結果は次のとおりです。

当選	仁科千鶴子氏	874票
当選	高田卓司氏	612票
当選	小野光三氏	600票
当選	平野敏弘氏	546票
当選	小野光章氏	498票
当選	仁科英麿氏	491票
当選	佐藤耕三氏	488票
当選	岡村咲津紀氏	466票
当選	眞野博文氏	423票
当選	岡本雅道氏	381票
次点	高田 禎介氏	350票
	田辺 博樹氏	52票



チューリップ組になったよ

議案に対する賛否状況(3月定例会)

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

賛否状況

議案名	議員名	平野敏弘	松原繁之	高田卓司	原田順夫	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	小野光章	議決結果
議案第1号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する規定の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	町職員の給与に関する条例の一部を改正する等の条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	町分担金徴収条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	町障害者計画等策定委員会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	町行政手続条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	町個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	町証明等手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	町介護老人保健施設設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	町保育の実施に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	平成26年度里庄町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	平成26年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	平成26年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	平成26年度里庄町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	平成26年度里庄町営墓地特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	平成26年度里庄町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	平成26年度里庄町公共下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	平成27年度里庄町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	平成27年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	平成27年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	平成27年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	平成27年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	平成27年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	平成27年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	平成27年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	平成27年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	里庄町及び倉敷市との高梁川流域連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第1号	町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

一般質問

町政を問う

4人の議員が登壇して質問!

平野 敏弘 議員..... 16P

- ① 中規模スーパーの誘致について
- ② 県道への歩道設置と町道整備について
- ③ まこもたけの特産品化について
- ④ 来年度の予算編成の方針について
- ⑤ 職員アンケートの結果について

高田 卓司 議員..... 17P

荒廃農地対策と町の特産品について

眞野 博文 議員..... 18P

- ① 町営住宅は本当に必要ないのでしょうか
- ② 当町の空き家対策は
- ③ 小学校・中学校へ設置した扇風機の効果は

岡村咲津紀 議員..... 19P

- ① 防災対策について
- ② 町内の空き家、工場跡地について
- ③ ごみ減量化対策について

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。



松尾地区の道路拡張は

町長／買収は28年度に

問

12月議会で殿迫地区の県道沿い、通学路の歩道整備を速やかに設置すると答弁している。同じく12月議会で質問した松尾地区の道路拡張の具体的な期間と、来年度に工事をする予定があるのか。

農林建設課長

殿迫地区の県道の歩道整備は、今年度内に岡山県および岡山県警と協議を行いたい。

松尾地区の道路拡張は、南北に横断する生活道路は、民間業者の宅地開発にあわせ整備した。

東西を縦断する東小学校の校門付近の三差路から里見川を渡り、松尾地

区への町道は、進んでいない。

整備の必要性を認識している。来年度、測量調査および概略設計を予定しており、地元と調整を図り進めていきたい。

町長

松尾地区の道路拡張は、概略設計、詳細設計をし、買収は28年度になると思う。

問

町の特産品に向けて、まこもたけを栽培している。肥料などの経費は生産者が全て持ち出しでやっている補助金で経費が賄えるのか。

生産者の募集は

農林建設課参事／募集は行っていない



平野 敏弘 議員

多くの人に栽培してもらうために生産者の募集をし、生産者を増やす気があるのか。

農林建設課参事

まこもたけは、平成23年度から栽培農家が、生産組織を作り栽培している。

安定した農業経営につながるよう多角的に支援をしている。

販路の拡大に向けた支援を行っており、生産性の向上や収益性の支援は、農家の経営感覚を意識し経費をかせげず作付けから収穫、運搬など考える必要がある。栽培技術は、営農指導員と県農業普及センター、町、生産者による合同会議を開催し、

ふるさと納税の謝礼にまこもたけは

企画商工課長／27年から期間限定で

問

ふるさと納税の謝礼にまこもたけを採用する気があるのか。

企画商工課長

27年度から期間限定で、ふるさと納税のお礼の品として入れることを考えている。



まこもたけの株おこし

安定的な生産と高収益を上げるための研修会を毎年開催している。

生産者への支援等は、10アール当たりの作付けに対し、1万円の支援をしている。

生産者の募集等は行っていないが、農協の中に生産部会が設立されている。

その他の質問
Q 中核規模のスーパーを町内に誘致する気があるのか。
Q 職員アンケートを実施したのか。

高田 卓司 議員



荒廃農地の対策として ツバキ油はどうか

町長／JA等が協力賛同なら町も協力する

問

①担い手が無くて荒廃農地が年々増えている。原因としては、圃場整備ができていないことと、農業離れが原因と思われる。

町として何か良い具体策はあるのか。

②農地の管理をしない地権者に負担金をいただき、町あるいはシルバーで管理するようにしてはどうか。

③荒廃農地対策として大金を使ってまこもたけを作っているがいまいち広がりが見られない。何か他のものも考えてはどうか。

④特産品とするには儲からなくては、続かない。

町の木であるツバキの栽培を推奨し、ツバキ油の特産品として売ることを事業化してはどうか。

⑤実を採り、集めるのはお年寄りでもできる。多くの人が関与でき、お金になるようにしなければ続かない。

今年中に生産部会を立

ち上げ先進地に視察に行き事業化を研究してみた。皆さんが集めた実は買い上げて、年間通して油を搾り商品化し、特産品とすれば葉っぱ事業の上勝町のようにできる。

ツバキ油が特産品としての実態ができたら町として支援できるか。

参事

農林建設課 ①担い手支援協

議会を母体として、新規就農者、定年帰

農者を発掘し、農業委員会と農政部局と連携して対策を進めたい。

②ほとんどの人がシルバー人材センターを活用して草刈りを行っている。

しかしシルバーも、もう手いっぱい状態と聞いている。

③里庄まこもたけの知名度は向上し、広がりを感じている。

④農家が自らの判断に基づいて自由な品目をつくればよいと思う。

町長

⑤JA等に協力、賛同してもらい、何人かのグループで積極的にやるならば町としても協力する。

当面は水田の放棄地にかかわる対策を優先的に支援していきたい。



荒廃地

町営住宅は必要ないのか

農林建設課長／官民一体となった運営を研究する



眞野 博文 議員

問

公営住宅、町営住宅の事業は住宅セーフティネットであり、福祉事業である。

①林地区の町営住宅を除くと、入居者の退去後は解体されるであろう古い町営住宅しかない。新たに入居することができない町営住宅は本町にはない。町営住宅は本当に必要なのか。

②民間アパートを利用するのであれば、どのように行うのか。あと入居の初期費用や連帯保証人はどうするのか。

③高齢化と核家族。住宅福祉の役割は大きい。

またイターン、Uターン、Jターンの受け入れや若い夫婦の子育て世帯向け

など視野を広げて検討して欲しい。

農林建設課長

①当面の課題は、老朽化した町営住宅に居住している方の生活環境や安全面に配慮し、住みかえを検討すること。居住者の意識調査は平成27年度からやっていきたい。

新たな町営住宅を建設することは、財政面や維持管理面などを考慮すると困難である。町内に点在する民営の借家住宅などを生かした官民一体となった公営住宅の運営方法について、先進的な自治体の取り組みをあらゆる角度から研究して対応していきたい。

町長

移り住んで里庄に住みたい方や、DV被害者に関しては言ってもらえれば個々に対応していく。

②官民一体となった公営住宅の運営方法の具体的事例は何件かあるが、入居初期費用とか連帯保証人などについてはまだ考えてない。これから研究していきたい。

③都会から帰ってきた方の受け入れは、非常に大切だと思うが、収入基準や世帯構成もあわせなければならぬ。子育て対策として若い世代の方も受け入れる体制をできるように研究していきたい。

空き家対策は講じるのか

町長／早急に手をつける

問

空き家対策の推進に関する特別措置法が施行された。

①空き家になったにもかかわらずそのまま置かれている空き家は町内に何軒あるのか。

②当町ではどのような措置を講じる予定なのか。

③空家の条例をつくる予定があるのか。

総務課長

①町内の空き家の軒数の具体的な数は把握できていない。

②現在のところ問題となる空き家等の相談案件が少ない状態で、個別対応となつている。相談件数が少ないとはいえず、取り組みまなければならない問題であることは認識をしている。どこに空き家があるのか、町全体の状況を把握していきたい。

町長

③空き家対策は早急に手をつける必要があると感じている。条例が必要な場合はつくらざるを得ない。

まず、町内のどこに空き家があるのか、分館長や組合長にお願いして状況を把握したい。

それをどの課が受け持つのか。その次はどうするか検討する。

その他の質問

Q 小中学校の扇風機の効果は。

Q 低学年は体温調節機能は、未成熟。健康管理の面で問題。

Q 湿度が高ければ汗は蒸発せず、体温は下がらない。

Q よしずや緑化だけでなくエアコンの併用を。

Q 導入初期費用が問題ならFPI方式の検討を。電気代が問題ならガスヒートポンプ方式の検討を。

Q 子どもに我慢させることが良いとする考えは理解できない。

岡村咲津紀 議員



防災会議に女性委員の登用は

総務課長／構成団体から女性委員を

問

町の防災対策に、男女共同参画の視点をどのように取り組んでいるのか。

防災会議に女性委員を何人登用し、年に何回開いているのか、女性委員からの意見は。

災害時に備え、緊急物資の中に乳幼児や高齢者に配慮した離乳食や、介護食等の物資を備蓄しているのか。また、在庫数は。

避難所運営の訓練を取り入れ、地域と連携した防災訓練を今度、検討していくのか。

総務課長

町は、具体的な対策、対応、マニュアル等の作成ができていない。早期に作成をしたい。

委員は15名、追加することも可能であり、里庄町女性団体連絡協議会構成団体から女性委員を委嘱したい。

会議は、昨年2回開催した。

女性委員からの意見はなかった。

女性や子供、高齢者、障害者に配慮した物資については十分に準備できていないので、計画的に備蓄をしていきたい。

現在の備蓄品は、アルファ米や水、タオル、毛布、簡易トイレ等を備蓄している。

避難所運営訓練は、来年度以降の防災訓練の実

施に取り入れ、検討する。来年度は、地区別に防

災、防犯マップを作成する事業や、中央公民館で避難所体験も実施する予定。避難所体験は、避難所運営を想定した内容を盛り込むなど検討を行っている。

企業と合同の防災訓練等は今後、考えていきたい。

空き家バンク制度を

設けたら

総務課長／状況把握から努めたい

問

全国で深刻化している空き家対策として、2月26日に空き家対策特別措置法が施行された。

空き家のデータベースを町が整備し、空き家や空き家跡地の活用を促進

し、空き家等の売却や活用の相談窓口を、町が情報を仲介する空き家バンク制度を設けたらどうか。

総務課長

現時点では、町内の状況把握から努めていきたい。

ごみ排出量の推移と現状は

町民課長／リサイクルは井笠園域

市町の中最も低い

問

町内のごみ排出量の推移と現状

町民や企業に周知するための対策は。

町長

計画では、5年後にごみ排出量の約10%削減、リサイクル率の約10ポイント増加、最終処分量の約20%削減を目標としている。

町民課長

分別収集量の推移は、リサイクル率が平成24年度は、14.0%と、井笠園域市町の中で最も低い値である。

町民、事業者、行政が役割を認識し、協働して取り組む必要がある。

町民には、地域や各種団体等へ出向き出前講座や、学校での環境学習に積極的に取り組んでいきたい。

事業者へは、適正な排出やごみの減量等の取り組みの冊子作成や、配付による周知を検討していく。



ゴミの収集

絆を深める子供会

グリーンクレスト南子供会

グリーンクレスト南子供会は20世帯27名で活動しています。団地発足当時に比べ、子供会の人数は年々減少していますが、6年生までの子ども達が、保護者と共にグリーン橋、公会堂、公園の清掃等、地域の活動に参加しています。

当子供会では、秋祭りなどの大きな行事はありませんが、歓送迎会やバス旅行などを計画し、学年の子ども達が参加し、楽しめる活動をしています。

平成26年度は、木の粘土で鉛筆やキーホルダー作りをしました。鉛筆のにおいがする不思議な粘土に、初めは戸惑う子どもいましたが、お花のかわいい鉛筆を作る子や、型を使ってキーホルダー作

りに夢中になる子、みんな思い思いのオリジナル作品に仕上がりが満足気な様子でした。

バス旅行は、「キッザニア甲子園」へ行きました。警察官、消防士、モデル等々、様々な職業を体験でき、とても楽しい思い出ができました。

近年は学年が違えば、一緒に遊ぶ機会が少なくなりました。子供会のこうした活動は全学年が交流できる大切な場であり、親子共々ふれ合い、「絆」をより深めることができると思います。

最後になりましたが、子供会運営にあたり、いつも見守り支えてくださっている地域の皆さまには本当に感謝しています。ありがとうございます。



《第80号》

平成27年4月28日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.okayama.jp

●あとかぎ

今回で第80号となり『議会だより』も今年で20年になります。

先輩議員が平成7年8月10日に、創刊号を発行して以来今も変わりなく町民の皆さまに、定例会や議員活動など「分かりやすく」を基本にお知らせしてきました。

広報委員は、試行錯誤しながら、紙面づくりをしてきましたが、まだまだ課題も多く反省しています。

次号からは新広報委員のもとで発行となります。

今後とも宜しくお願いします。

(小野)

編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：小野光三 委員：松原繁之 委員：岡村咲津紀

